

SIGNATURE

The Magazine for Diners Club Card Members

シグネチャー

June

2016

Number 592

6

特集

旅を語る、眺めのいいホテル

Special Feature
Hotels with a View

224 porcelain for Hands on Design



李荘窯

for Hands on Design



上：ミナレ&マエダが手がけたテーブルウェアシリーズ「CAD/CAM」。ジャグ(L) 4,500円、ジャグ(ミルク) 2,500円、カップ 2,875円、シュガーボウル 8,750円(すべて税抜) 224ポセリンは有田や波佐見の下請け産地だった肥後吉田(佐賀県嬉野市)で生まれた新しい磁器ブランド。

224 shop+saryo

佐賀県嬉野市嬉野町下宿乙909

電話 0954-43-1220 www.224porcelain.com/

左：物事の背景にある事象を大切に詩的なデザインが特徴のロベルト・シローニと組んだボウルのセット「Tanka」。卓越した技術と発想力で知られる李荘窯は料理人からの信頼も厚い。

李荘窯業所

佐賀県西松浦郡有田町白川1-4-20

電話 0955-42-2438 www.risogama.jp

様式にとらわれない
イタリア発の多国籍ブランド

伝

統技術を継いだ手仕事、顔の見える職人たち、産地の風土を伝える素材——プロダクトデザインの世界においても、ストリーのあるもの作りへの重要性が謳われるようになって久しい。手間隙をかけて作られたものを日常使いする豊かさに、幅広い層が気づいてきたということだろう。

世界的に広がる、いわば工芸回帰の風潮のなかで、ミラノを拠点にするシイナ+ナルディ・デザインが2015年に立ち上げたのが「Hands on Design」。職人と、世界を舞台に活動するデザイナーとを出会わせ、多くの文化に共通する「普遍」を形にして暮らしに新しい体験や価値観を提供し、伝統工芸の技術を未来へと繋いでいこうというのがブランド設立の趣旨だという。2年目となる今年のミラノサローネでは、20名のデザイナーとイタリア、キルギス、日本の15の工房とのコラボレーションによる31シリーズを発表した。

ガラス、漆、木工、茶筒、金網など多彩な工房が参加するなか、陶磁器工房としては肥前吉田焼の『224ポセリン』と、有田焼の『李荘窯』の2工房が参加。前者はヴェネツィアの建築事務所、カンツ・アルキテツティと、ロツテルダムを拠点とするデザインデュオ、ミナレ&マエダ、後者は同じくカンツ・アルキテツティと、ヴェラーノ・ブリアンツァで活動する若手デザイナーのロベルト・シローニと組んだ。こうした試みで歴史ある工房が新たな視点を発見し、デザイナーたちにとっては大きな学びの場になる。自由な発想とそれをかたちにする技術力のコンビネーション、今後の展開にも注目していきたい。